慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	浜田四郎著 現代式商店の経営
Sub Title	
Author	気賀, 勘重
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1915
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.9, No.12 (1915. 12) ,p.1479(143)- 1481(145)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	批評と紹介
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19151201-0143

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

批評と紹介

福田德三著『改定經濟學講義』第一卷

大正四年十一月大倉書店發行
菊版二百三十六頁定價金八十五錢

英國正統派の唱へたる學說を經と爲し墺太利派の新說を緯として、折衷學派を創立し、獨逸の歷史學派の研究法を參酌して生きたる人間の經濟的活動の研究を唱道し、斯學に一新方面を開拓せしは彼の英國經濟學者の巨擘アルフレッド。マーシャル敎授其人に外ならず。其の著『經濟原論』が發表後既に一世紀の四半期に達せるにも拘らず、尙ほ依然として學界の權威たるは蓋し偶然の結果に非ざるなり。苟くも經濟學を知らんと欲する者は之を反覆熟誦せずして可ならんや。而かもマ氏の文體は邦人に取りては必ずしも平易明快なりと云ふこと能はざるの憾なきに非ず。

此重要なる而かも通讀易からざる名著をば流暢玲瓏なる邦文を以て解說せるものは、福田博士の『經濟學講義』なりとす。されど、此『講義』は單にマーシャル敎授の學說を譯述せるのみに非ずして、泰西諸大家の說を引用し、加ふるに博士自身の見解を載せ、各問題の集約的研究を試みたるものなり。一度び之を繙かんか、博士の犀利なる論法と該博なる識見は紙面に躍如たるを覺ゆ。此書上梓せらるゝや洛陽の紙價爲めに騰かりしは故なきに非らずと謂つ可きか。

此書の初版は明治四十年に出で、其後版を重ぬること數回、最近に於て絕版に付せられしが今回著者は大に其內容の組織を變更して其一部を發表せられたり。是れ即ち『改定經濟學講義』第一卷なりとす。改定前に於てはマーシャルの學說を區分的に紹介し、各節毎に博士自身の批評註釋を施すの方法を採りたるが、新版に於てはマーシャル氏の說と註釋とを全く分離して、兩者を各々一括して系統的に列載せるを以て、改定版は原著書並に博士の思想を組織的に窺ふことを得る點に於て舊版に優れりと云はざる可からざるのみならず、譯文並に評釋を通じて更に一段の改竄推敲をふ加へられたるを以て、本書は改版と稱するも寧ろ新著述と看做す可きものなるが如し。

本書は全部を六卷に分ち順次上梓せらるゝ、豫定なりと云ふ。今回發表せられたる第一卷に載する所は『序論』と其の『補論』にして、序論は即ちマーシャル氏『原論』第一卷『序論』の紹介にして、『補論』は福田博士がマ氏の提出せる各問題に就きて更に諸方面より研覈せられたる成果を載せたり。吾人は學生のみならず學者に對しても多大の刺戟を與ふる本書の續編が全部一日も早く發表せられんことを希はざるを得ず。

濱田四郎著『現代式商店の經營』

佐藤出版部出版　定價壹圓八拾錢

題して商店の經營といふも各種の商店全般に亘りて商業經營の一般方法を說明せる敎科書的の著作に非ず。現代式の小賣商店殊に主として大規模なる小賣商店の經營方法に關して著者多年の研究の結果を列序せるものなり。說く所、小賣商の組織設備及び運用より販賣の方法顧客吸引の手段に亘りて、小賣直段、小賣の經費、事務の整理、廣告の方法、割引販賣、通信販賣、顧客の待遇等に關する進步せる歐米商店の實狀と我國に於ける其應用の適否並に方法を盡し、全篇三十六章五百三十頁を算する此種近來の一大著述なり。

著者は三越呉服店員として多年此方面の實驗を有し、又斯業視察の爲に廣く歐米各國を巡歷して見學を爲せる人、其所說の實際的にして能く彼我の長短を穿てる實に此種著作中の白眉と

云ふ可く、著者が序文に於て「英米に於ける商店の實際に鑑み之を我國の現狀に照し、其利害の存する所を述べ、就いて學ぶべしと信じたる事は細大となく之を採錄した」と云へる其所言は正に正札慥直なき本書の實質といふ可し。唯本書の實質斯の如くなるが故に本書は書籍に依りて商業の實際の大要を學ばんとする學生向のものに非ず、寧ろ實際に商業に從事しつゝある商家の主人並に店員の爲に最も適切なる參考書たりと云ふ可し。

斯る參考書として之を觀れば兎角舊習に惓み改良に怠惰なる本邦商人に對して英米の進歩的商人の實行せる新施設を說き注意す可き事項を詳示せる著者の勞は多しとす可きも、就中吾人の本書に最も喜ぶ所は邦人の兎角短所とせる精緻なる計數的觀念の必要を細說せる點と、我が所謂る新進的實業青年に有勝なる形式的模倣の危險を說示するに勉めたるとの二點に在り。此點に於て著者が各章各種施設に就き著者多年の經驗上より與へたる注意は惟ふに新式經營法の列擧說明よりも更に大なる可く、此點よりして本書は新智識ある學校出身の店員並に實業學校の學生に取りて頗る有要の參考書なる可し。著書は序文に於て「理屈を論せんよりも寧ろ事實を語る」と言へりと雖も此點に於て吾人は寧ろ本書を以て實業方面の眞理論を說けるものと評するに躊躇せず。

本書は勿論商人の純私經濟的見地より如何にせば最大の利益を擧げ得可きやを說けるもの、從つて其推奬する施設方法の必ずしも國民經濟上最有利のものと即斷す可らざるや論なし。即ち本書は徹頭徹尾商家私經濟上の敎科書なり參考書なり。而して此點より言へば吾人は著者に向つて小規模の小賣商店經營に就て今一步進める著者の所見を明說せん事を望まざるを得ず。大商店の經營に學ぶ可き點多きは眞に著書の言の如しと雖も、著者が販賣方法、經費賣價等に就て詳に過ぐる程の注意を加へたるより觀れば、單に大經營の經營方法を參考に供すと云へる丈にては悟惡き我大多數の商家商人には能く參考資料を咀嚼し利用し得る程の能力を期待するを得ざる可し。惟ふに我國の小賣商業は今尙ほ大部分小規模なる小賣商人の掌裡に在り。是等の徒に向つて現代式經營法の應用方法を說くこと餘りに概括的略式的なりしは吾人の大に本書に惜む唯一の點なり。（氣賀勘重）

高島佐一郎著『貨幣及物價の原理』
大正四年十一月　東京實文館發行
菊版三百五十五頁　定價金壹圓參拾錢

本書は本誌十月號に於て紹介せし高島氏の著述『金融の原理』の姉妹篇とて上梓せられたるものなり。主文は紙數百四十四頁を算し、他の二百五十一頁は附錄に充てたるものなりとす。主文に載するは即ち『貨幣及物價の原理』にして、附錄は題して『列國幣制の新傾向と歐洲戰爭』とせり。

『貨幣及物價の原理』は其姉妹篇なる『金融の原理』がバーカー氏（D. A. Barker）の著述 Cash and Credit の補譯なると同じくバ氏著書の姉妹篇 The Theory of Money を譯述し、隨所に他の學者の唱ふる學說を挿みて比較研究の便に供したるものなり。バーカー氏の The Theory of Money は大體に於てケメラー並にフイシャー兩氏の解說せる所謂新貨幣數量說をば輕快なる叙述法に依りて通俗的に祖述せるものなりと云ふを得可し。されば、バ氏の著書は科學的說明の點に於てはケメラー並にフイシャー兩敎授の著述に及ばざる所あるも、新貨幣數量說を簡略明快に說述せる點に於ては他の兩書に對して一日の長あるものなりと云はざる可からず。

高島氏は此バーカー氏の原著を譯述するに當りて『金融の原理』に於て採用せしとは異れる